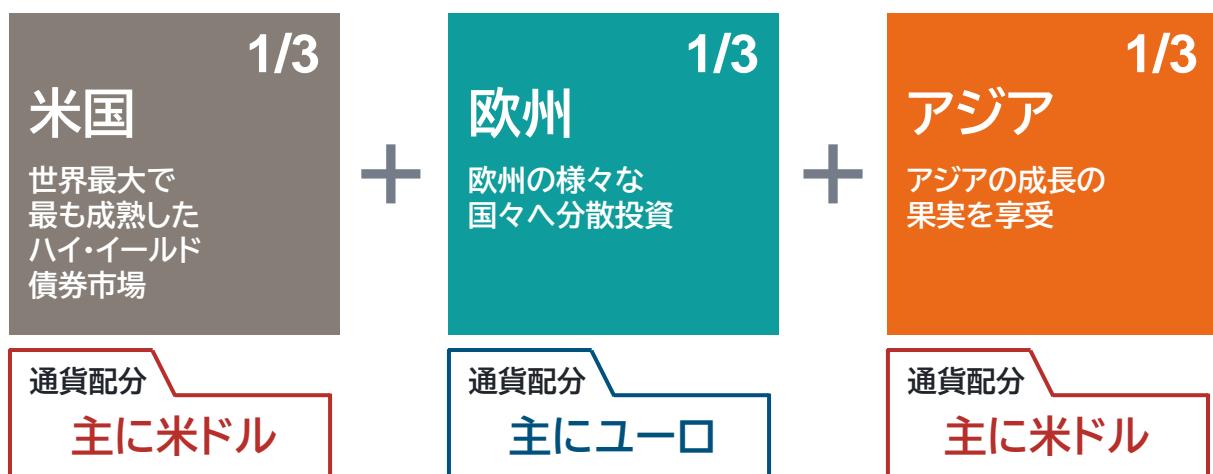




■ ファンドのポイント

■ 世界中の事業債へ投資し、好リターンを追求します。

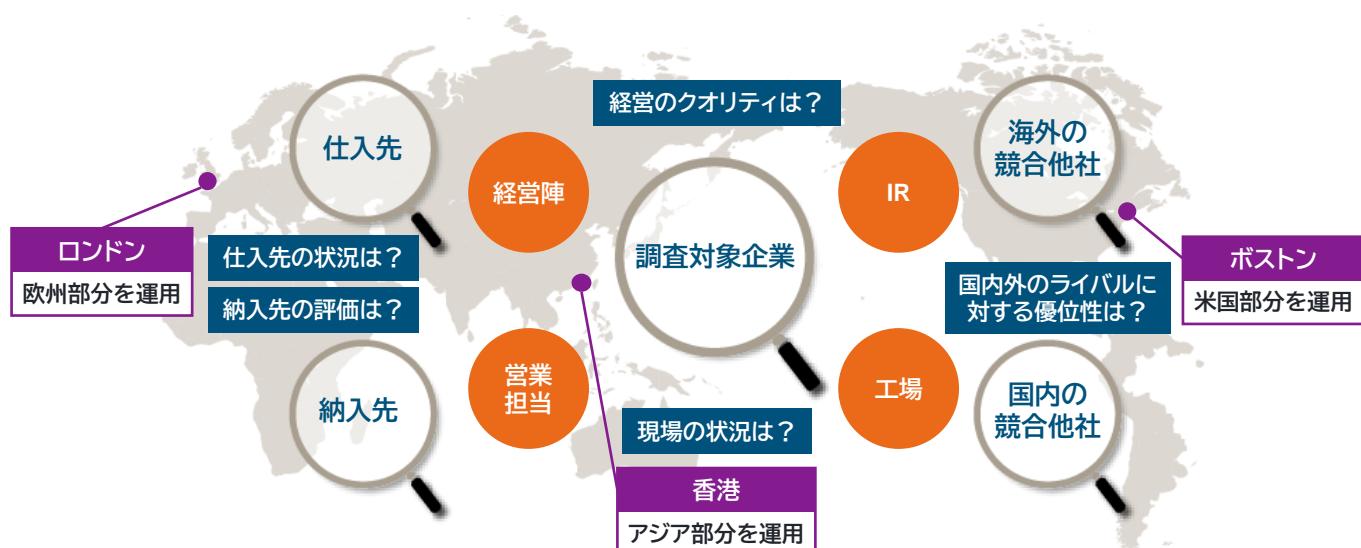
- 相対的に高い利回りの獲得が期待できるグローバル・ハイ・イールド債券市場に投資します。
- 米国、欧州、アジアの3つの地域のハイ・イールド債券に投資。アジアの成長力も取り込み、信託財産の成長を目指します。



■ グローバルな企業調査・分析に基づき運用します。

- ハイ・イールド債券の運用では発行体企業の信用力(債務の返済能力)調査が重要です。
- グローバルな企業調査・分析をもとに、3地域の運用担当者が徹底した企業選別を行います。

債券運用・調査体制





月次運用レポート



フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)
追加型投信／海外／債券

2025年8月

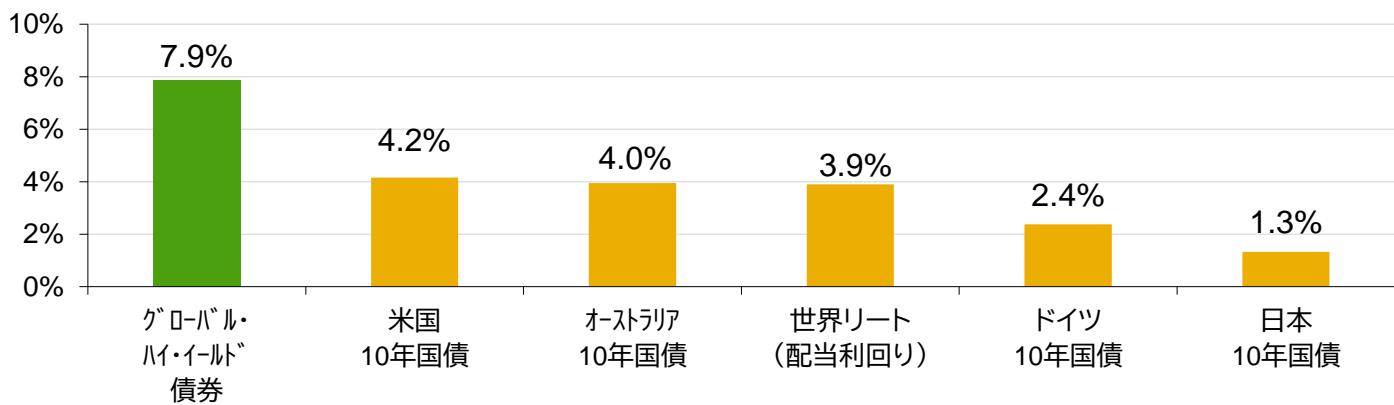
当ページは、グローバル・ハイ・イールド債券指数の数値を記載したもので、ファンドの実績値ではありません。

グローバル・ハイ・イールド債券の特色

- グローバル・ハイ・イールド債券は、世界の企業が発行する高利回り、低格付の事業債です。
- 世界最大のハイ・イールド債券市場である米国から成長著しいアジアまで、幅広い投資機会を追求します。

相対的に高い利回り水準となっています。

グローバル・ハイ・イールド債券と他資産の利回り比較

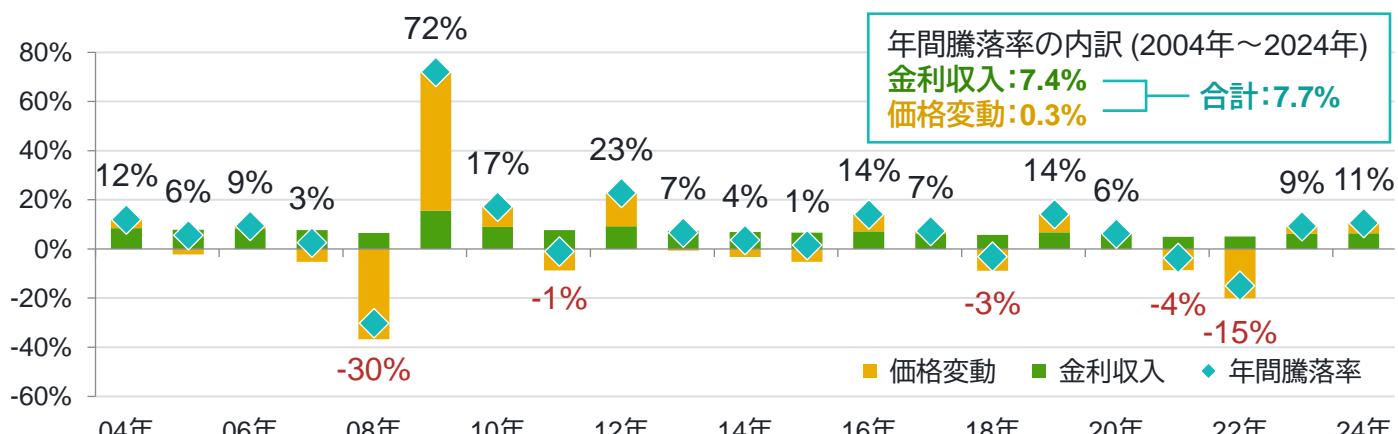


(注)RIMESなどよりフィデリティ投信作成。2025年4月末時点。グローバル・ハイ・イールド債券はICE BofA アジアン・ダラー・コーポレート・ハイ・イールド・インデックス、ICE BofA グローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス、ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスの均等配分。世界リートはFTSE先進国リート指数。

相対的に高い金利収入が騰落率の支えとなっています。

- グローバル・ハイ・イールド債券の年間騰落率の内訳をみると、相対的に高い金利収入が騰落率の支えとなっています。
- 安定して得られる高い金利収入には、価格の下落をカバーする「クッション」の効果が期待できます。

グローバル・ハイ・イールド債券の年間騰落率の内訳(現地通貨ベース)



(注)RIMESよりフィデリティ投信作成。期間2004年～2024年。グローバル・ハイ・イールド債券は、ICE BofA アジアン・ダラー・コーポレート・ハイ・イールド・インデックス、ICE BofA グローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス、ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスの均等配分。現地通貨ベース。数値は年間騰落率。



月次運用レポート



フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型) 追加型投信／海外／債券

2025年8月

設定日:2014年4月15日

信託期間:原則として無期限^(注)

決算日:原則として毎年3月27日(休業日の場合は翌営業日)

(注)ファンドは、2025年9月11日付で信託の終了(繰上償還)を致します。なお、月次運用レポートは今月をもちまして最終となります。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

LINE 友だち追加
はこちらから>>



フィデリティ投信 LINE
公式アカウントでは、
マーケットに関する情
報をお届けしています。

■基準価額・純資産総額の推移

	2025/7/31	2025/6/30
基 準 価 額	18,372 円	17,762 円
純 資 産 総 額	1.6 億円	1.9 億円
累 積 投 資 額	18,372 円	17,762 円

基 準 価 額 (月 中)	高 値	18,372 円	(7月31日)
	安 値	17,703 円	(7月1日)
基 準 価 額 (設 定 来)	高 値	18,372 円	(2025年7月31日)
	安 値	9,637 円	(2016年6月28日)
累 積 投 資 額 (設 定 来)	高 値	18,372 円	(2025年7月31日)
	安 値	9,637 円	(2016年6月28日)

■累積リターン

(2025年7月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファ ン ド	3.43%	8.58%	3.67%	8.17%	45.18%	83.72%
ベンチマーク	4.35%	9.82%	4.63%	10.64%	52.29%	118.92%

(ご参考)為替レートの変化率

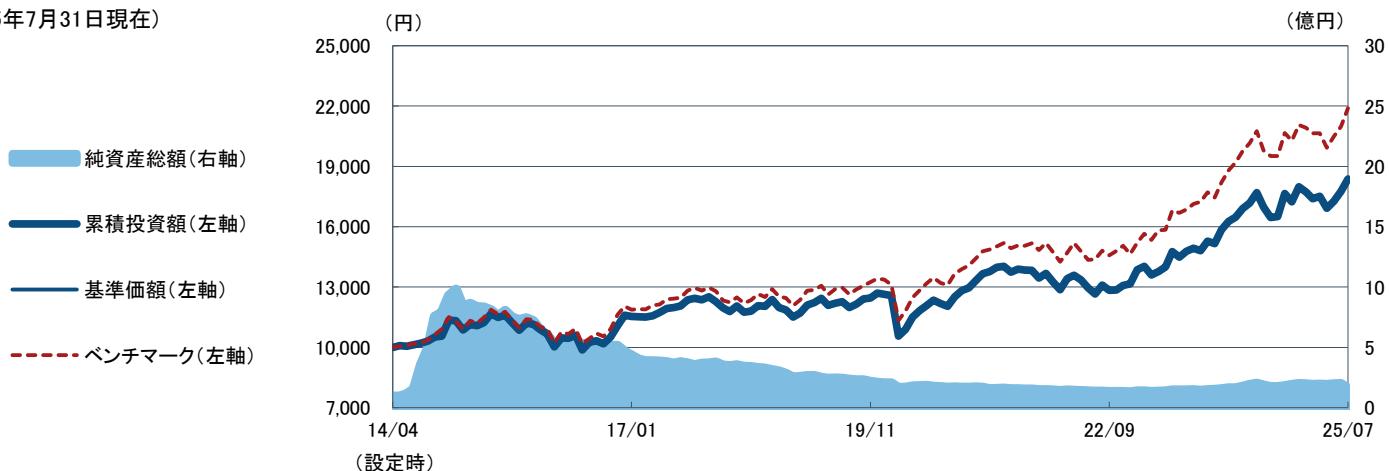
(2025年7月31日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
為替レート (円/米ドル)	144.81	142.57	154.43	152.44	134.61	101.88
為替レートの (円/米ドル)の変化率	3.16%	4.78%	-3.26%	-2.00%	10.98%	46.63%
為替レート (円/ユーロ)	169.66	162.17	160.36	164.89	137.25	140.83
為替レートの (円/ユーロ)の変化率	0.64%	5.29%	6.48%	3.55%	24.41%	21.25%
米ドル2/3、ユーロ1/3の 為替レートの変化率	2.32%	4.95%	-0.02%	-0.15%	15.46%	38.17%

為替レート(2025年7月31日時点):円/米ドル149.39円 円/ユーロ170.75円

■運用実績の推移

(2025年7月31日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。

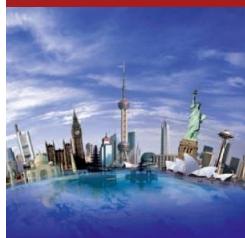
※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※ベンチマークは複合ベンチマーク(円換算)です。ベンチマークの詳細は、後述の「ベンチマークについて」をご参照ください。

※為替レートは、TTM(三菱UFJ銀行発表対顧客電信売買相場仲値)の各月末値です。

※変化率のプラスは円安を、マイナスは円高を表しています。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)
追加型投信／海外／債券



2025年8月

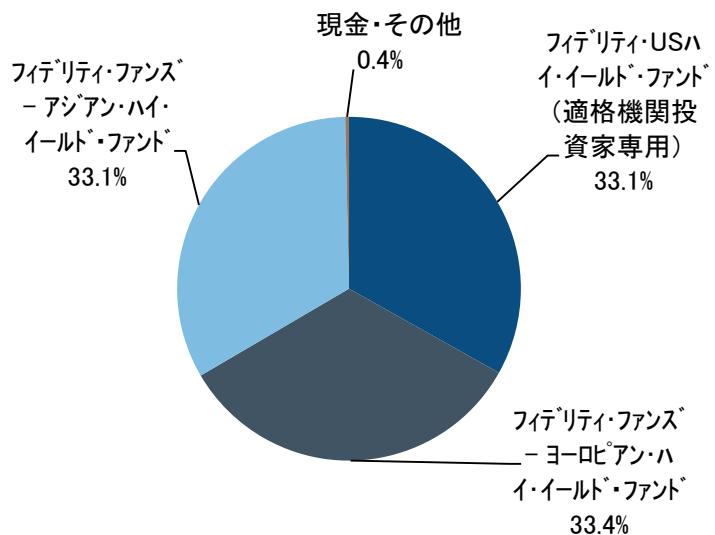
■分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2025年7月31日現在)

決算期	日付	分配金
第6期	2020年3月27日	0円
第7期	2021年3月29日	0円
第8期	2022年3月28日	0円
第9期	2023年3月27日	0円
第10期	2024年3月27日	0円
第11期	2025年3月27日	0円
設定来累計		0円

■ファンド別組入状況

(2025年6月末現在)



(対純資産総額比率)

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

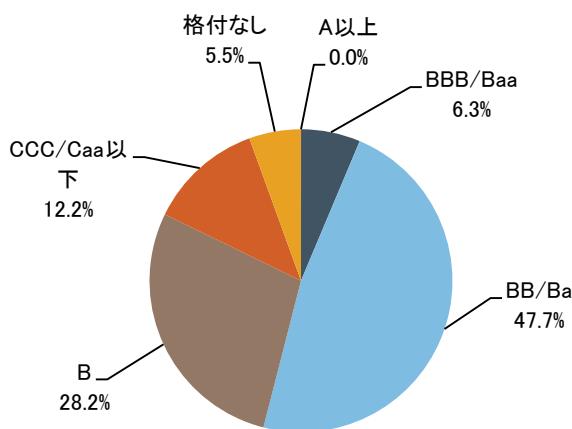
※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

※各投資対象ファンドの詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■ポートフォリオの状況

(2025年6月末現在)

◆格付別組入状況



◆ポートフォリオの特性値

平均格付	B
最終利回り	6.6%
直接利回り	6.4%
修正デュレーション	2.7
組入銘柄数	1,284

◆通貨別組入状況

アメリカ・ドル	66.7%
ユーロ	33.6%
その他	-0.2%

(対純資産総額比率、ただし、格付別組入状況は対投資債券比率)

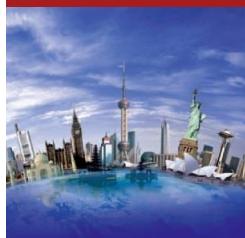
※格付は、S&P社、ムーディーズ社もしくはフィッチ社による格付を採用し、S&P社または2番目に高い格付を採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

※ポートフォリオの特性値は、計算日時点の参考値であり、将来の利回りや運用成果を保証するものではありません。

※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※平均格付、最終利回り、直接利回り、修正デュレーション、通貨別組入状況は各組入れファンド(上場投資信託証券は除きます。)の開示情報をもとに、各ファンドに1/3ずつ投資という仮定のもと弊社にて計算した概算値です。

※組入銘柄数は各組入れファンド(上場投資信託証券は除きます。)の開示情報より得られた銘柄数を単純合算しており、一部重複する銘柄が存在する場合があることが考えられます。



月次運用レポート



ファイデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)
追加型投信／海外／債券

2025年8月

■基準価額の月間騰落額の内訳

(2025年7月31日現在)

基準価額騰落額(前月比)	610円
分配金	0円
投資対象ファンドの価格変動(ファンド通貨ベース)	194円
ファイデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)	(39円)
ファイデリティ・ファンズ・ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド	(61円)
ファイデリティ・ファンズ・アジア・ハイ・イールド・ファンド	(95円)
為替変動要因	416円
ファイデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用) (円/米ドル)	(189円)
ファイデリティ・ファンズ・ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド (円/ユーロ)	(38円)
ファイデリティ・ファンズ・アジア・ハイ・イールド・ファンド (円/米ドル)	(189円)
現金・その他・信託報酬等	0円

※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

※各投資対象ファンドの詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

■(ご参考)円/米ドル 為替レートの推移

(2025年7月31日現在)



■(ご参考)円/ユーロ 為替レートの推移

(2025年7月31日現在)

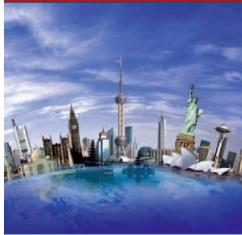


※為替レートは、TTM(三菱UFJ銀行発表対顧客電信売買相場仲値)の各月末値です。

<ベンチマークについて>

複合ベンチマーク(円換算)は、J.P.モルガン・アジア・クレジット・インデックス・ノン・インベストメント・グレード(円換算)1/3、ICE BofA グローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス(レベル4-20%) (ユーロヘッジ・ベース)(円換算)1/3、ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(円換算)1/3から構成されています。

J.P.モルガン・アジア・クレジット・インデックス・ノン・インベストメント・グレード(円換算)は、設定から2022年7月末まではICE BofA アジアン・ハイ・イールド・コーポレート・コンストレインド・ブレンデッド・インデックス(レベル4-20%) (円換算)でした。ベンチマークの累積リターン及び運用実績の推移のグラフについては、これらを連続させて計算しています。



月次運用レポート



ファイデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)

追加型投信／海外／債券

2025年8月

■コメント

(2025年7月31日現在)

◆市場概況

当月の世界のハイ・イールド債券市場の月間騰落率は、地域別で、アジア:+1.43%、欧州:+1.15%、米国:+0.40%となりました。米国債券市場では、景気・物価の動向やトランプ政権の関税交渉に注目が集まりました。月上旬の雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比14.7万人増と市場予想を上回り、失業率が低下するなど底堅い結果となったことや、トランプ政権の税制・歳出法案が議会で可決されたことなどを背景に長期金利は上昇しました。月中旬は、消費者物価指数の上昇率が前月から加速しましたが、事前に関税による影響が見込まれていたため、市場への影響は限定的となりました。月下旬は、トランプ政権が日本や欧州連合(EU)との関税交渉で合意に至り、不透明感が後退するなか長期金利は低下しました。月を通してみると、米国10年国債利回りは上昇しました。

欧州債券市場では、金融政策動向や米トランプ政権の関税交渉に注目が集まりました。月上旬は、米国と欧州連合(EU)の関税交渉で進展への期待が高まり、ドイツや英国の長期金利は小幅に上昇しました。月中旬は、米国がEUからの輸入品に8月から30%の関税を課すと発表したことや、欧州の半導体関連企業の軟調な決算発表を受けてドイツの長期金利は低下しました。月下旬は、欧州中央銀行(ECB)が政策金利据え置きを決定し、追加利下げへの期待が後退するなか長期金利は上昇しました。その後、米国とEUが関税合意に至りましたが、一部欧州企業からは関税措置に伴う影響への懸念もみられるなか、長期金利はもみ合いでの推移となりました。10年国債利回りはドイツ、英国で小幅に上昇しました。

ハイ・イールド社債のスプレッド(上乗せ利回り)は、月を通してみると、米国、欧州、アジアで縮小しました。
(※文中の騰落率は現地通貨、現地月末最終営業日ベース、J.P.モルガン指数、ICE BofA指数より。アジアはJ.P.モルガン・アジア・クレジット・インデックス・ノン・インベストメント・グレード(米ドルベース)、欧州はグローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス(レベル4-20%) (ユーロヘッジ・ベース)、米国はUSハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(米ドルベース)。)

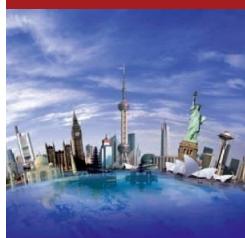
◆今後の見通し

米国債券市場では引き続き景気・物価・金融政策動向に加えてトランプ政権の関税策が注目されています。概ね良好な水準にあったインフレや労働市場において、関税策による今後の影響が警戒されています。こうしたなか、米連邦準備制度理事会(FRB)は複数回の利下げを行っていますが、先々の利下げ回数については不透明感が大きく、市場の利下げ期待が上下することで長期金利の変動が大きくなる可能性があります。今後について、インフレが再び加速に転じるリスクや、トランプ政権による関税策などが先行きの不確実性要因となっており、そのような要因の影響および動向を注意深く見ていきます。

ユーロ圏では、インフレや景気の方向性における不透明感を背景とした金融政策動向および域内の政治動向へ注目が集まっています。欧州中央銀行(ECB)は利下げ姿勢から様子見姿勢へと移行しつつあり、英国では金融当局の漸進的な緩和姿勢が見受けられるものの、今後については不透明感が残る状況です。米国のトランプ政権による関税策は、インフレの加速と景気悪化につながる可能性があり、欧州地域へ与える影響も大きく、地域全般の大きな不確実性要因となっています。したがって、欧州地域では、金融政策と景気のバランスなど難しいかじ取りを強いられています。インフレ抑制が想定通り進まないリスクも残るため、動向を注意深く見ていく必要があります。

アジア地域の各国は、引き続き構造改革のプロセスにあります。短期的には不確実性に十分配慮する必要があるものの、中長期的な市場全体に対する建設的な見方を維持しています。

各国のハイ・イールド債券市場は、中国の軟調な経済指標や不動産セクターの信用問題、米国のトランプ政権による政策の不透明感などから景気減速リスクの懸念が拭えず、短期的な不確実性要因となっています。また、ウクライナおよび中東情勢の長期化など地政学リスクによる要因からインフレ抑制が想定通り進まない可能性も残るなど、市場のボラティリティが高まりやすい状況が継続するとみています。したがって、流動性を十分考慮し、慎重な銘柄選択を進めていきます。



月次運用レポート



フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)
追加型投信／海外／債券

2025年8月

主な投資対象ファンドの運用状況

■フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)(マザーファンド・ベース)

(2025年6月末現在)

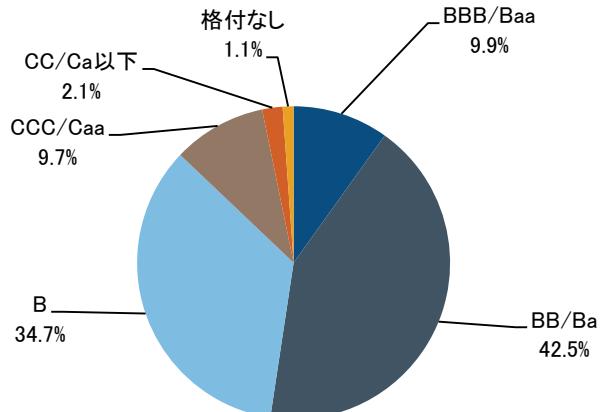
◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 715)

	銘柄	比率
1	エコスター 10.75% 2029/11/30	1.7%
2	ビストラ・コープ	1.1%
3	フォード・モーター・クレジット 6.95% 2026/03/06	0.8%
4	アルティス・フランス 5.125% 2029/07/15	0.7%
5	アクリシュア・ホールディングス	0.7%
6	メスキート・エナジー	0.6%
7	X	0.6%
8	トランスタイム 6.375% 2033/05/31	0.5%
9	ユニビジョン・コミュニケーションズ 8% 2028/08/15	0.5%
10	パシフィック・ガス＆エレクトリック 4.95% 2050/07/01	0.5%
上位10銘柄合計		7.8%

◆資産別組入状況

債券等	91.9%
転換社債	0.6%
株式	4.0%
新株予約権証券(ワラント)	0.0%
現金・その他	3.5%

◆格付別組入状況



◆通貨別組入状況

アメリカ・ドル	100.0%
その他	0.0%

◆組入上位5業種

エネルギー	12.0%
金融サービス	8.9%
通信	8.1%
ヘルスケア	7.9%
素材	7.3%

◆ポートフォリオの特性値

平均格付	B
最終利回り	6.5%
直接利回り	7.1%
修正デュレーション	2.8

(対純資産総額比率、ただし、格付別組入状況は対投資債券比率、組入上位5業種は対投資資産比率)

※フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)は国内証券投資信託です。

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※クーポンは、銘柄属性として発行時に定められたものを表示しております。

※2049/12/31は、永久債を表示しております。

※債券以外の銘柄は、クーポン・償還日の属性を表示しておりません。

※債券等には、金銭債権が含まれます。

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

※業種は原則としてICE BoFAの分類によります。一部弊社の判断で分類しているものが含まれます。

※ポートフォリオの特性値は、計算日時点の参考値であり、将来の利回りや運用成果を保証するものではありません。

※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※最終利回り、直接利回りは、債券等と転換社債の部分、修正デュレーションは債券等の部分で算出しております。



月次運用レポート



ファイデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型) 追加型投信／海外／債券

2025年8月

■ファイデリティ・ファンズヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド

(2025年6月末現在)

◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 337)

	銘柄	比率
1	ZF EUROPE FIN 7% 06/12/30 RGS	1.3%
2	VIVION INVEST PIK VAR 8/28 RGS	1.3%
3	ENERGO-PRO AS 8% 05/27/30 RGS	1.1%
4	ENERGIA GRP 6.875% 7/28 RGS	1.1%
5	BELLIS ACQUISI 8.125% 5/30 RGS	1.1%
6	VIRGIN MEDI 7.875% 3/15/32 RGS	1.1%
7	METRO BK HLD 12%/VAR 4/29 RGS	1.0%
8	CPI PROP GRP SA VAR PERP REGS	0.9%
9	NEMEAN BONDCO 13.25% 12/26 RGS	0.9%
10	JERROLD FINCO 7.875% 4/30 RGS	0.9%
上位10銘柄合計		10.6%

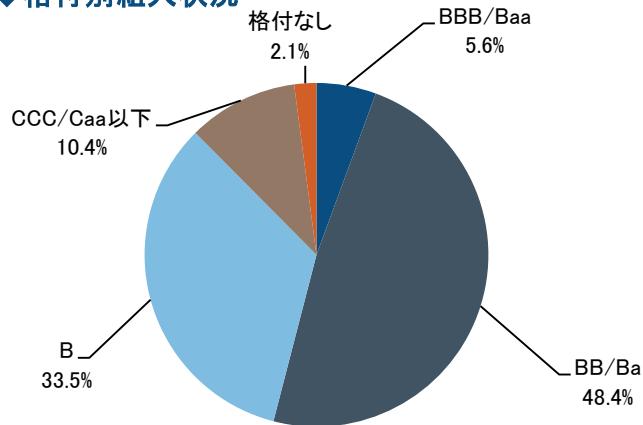
◆資産別組入状況

債券	94.3%
現金・その他	5.7%

◆通貨別組入状況

ユーロ	100.7%
その他	-0.7%

◆格付別組入状況



◆組入上位5業種

銀行／証券	19.8%
通信	16.5%
消費(景気敏感)	13.9%
その他金融	10.3%
消費(生活必需品)	8.3%

◆ポートフォリオの特性値

平均格付	B
最終利回り	5.1%
直接利回り	5.9%
修正デュレーション	2.9

(対純資産総額比率、ただし、格付別組入状況は対投資債券比率)

※ファイデリティ・ファンズヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンドはルクセンブルグ籍証券投資法人です。

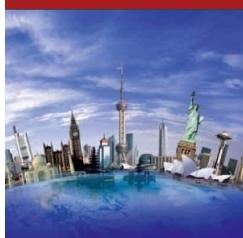
※当ファンドの管理事務代行会社の提供するデータに基づき作成しております。

※格付は、S&P社、ムーディーズ社もしくはフィッチ社による格付を採用し、原則として2番目に高い格付を採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

※ポートフォリオの特性値は、計算日時点の参考値であり、将来の利回りや運用成果を保証するものではありません。

※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※直接利回りは、投資対象ファンドの開示資料に記載されているファンド諸費用差し引き後の数値に、2025年4月30日決算期末時点のファンド諸費用を足し合わせた概算値です。



月次運用レポート



ファイデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型) 追加型投信／海外／債券

2025年8月

■ファイデリティ・ファンズーアジアン・ハイ・イールド・ファンド

(2025年6月末現在)

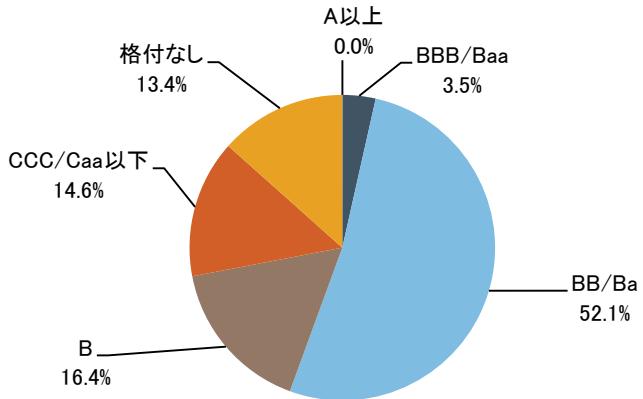
◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 232)

	銘柄	比率
1	ICB CHINA 3.2%/VAR PERP RGS	5.0%
2	BANK OF COM 3.8%/VAR PERP RGS	2.6%
3	MELCO RES FIN 5.375% 12/29 RGS	2.2%
4	PAKISTAN GOVT 6% 04/08/26 RGS	1.7%
5	PAKISTAN GOVT 6.875% 12/27 RGS	1.6%
6	BANGKO 3.733%/VAR 09/25/34 RGS	1.6%
7	PAKISTAN GOVT 7.375% 4/31 RGS	1.4%
8	SRI LANKA GOVT STEP 3/33 RGS	1.4%
9	STANDARD CHA 4.3%/VAR PERP RGS	1.4%
10	SRI LANKA GOVT STEP 2/38 RGS	1.3%
上位10銘柄合計		20.2%

◆資産別組入状況

債券	95.4%
現金・その他	4.6%

◆格付別組入状況



◆通貨別組入状況

アメリカ・ドル	99.9%
その他	0.1%

◆組入上位5業種

銀行／証券	15.3%
不動産	11.3%
消費(景気敏感)	11.2%
公益	10.2%
素材	6.3%

◆ポートフォリオの特性値

平均格付	B
最終利回り	8.2%
直接利回り	6.3%
修正デュレーション	2.5

(対純資産総額比率、ただし、格付別組入状況は対投資債券比率)

※ファイデリティ・ファンズーアジアン・ハイ・イールド・ファンドはルクセンブルグ籍証券投資法人です。

※当ファンドの管理事務代行会社の提供するデータに基づき作成しております。

※格付は、S&P社、ムーディーズ社もしくはフィッチ社による格付を採用し、原則として2番目に高い格付を採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

※ポートフォリオの特性値は、計算日時点の参考値であり、将来の利回りや運用成果を保証するものではありません。

※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

※直接利回りは、投資対象ファンドの開示資料に記載されているファンド諸費用差し引き後の数値に、2025年4月30日決算期末時点のファンド諸費用を足し合わせた概算値です。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

※ファイデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。

ファンドの特徴

- 投資信託証券*(投資対象ファンド)への投資を通じて、主として海外の高利回り事業債(ハイ・イールド債券)に分散投資を行ない、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上り益の追求を目指します。
- 各投資信託証券への配分比率は、投資信託財産に対して概ね以下の比率を基本とし、当該基本配分比率から大きく乖離しないよう運用します。戦術的な資産配分は原則として行いません。ただし、運用環境の変化により、基本配分比率を変更する場合があります。

投資対象ファンド	基本配分比率
フィデリティ・ファンズ・アジア・ハイ・イールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)	1/3
iシェアーズUSDアジア・ハイ・イールド・ボンド・インデックスETF(シンガポール籍外国証券投資信託)	
フィデリティ・ファンズ・ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)	1/3
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(適格機関投資家専用)(国内証券投資信託)	1/3

- 組入れを行なう投資信託証券において、格付けに関しては、主に、Ba格(ムーディーズ社)以下またはBB格(S&P社)以下の格付けの事業債に投資を行ない、一部、格付けを持たない債券を組入れることもあります。
- 組入れを行なう投資信託証券において、銘柄選別に関しては、個別企業分析により判断します。個別企業分析にあたっては、アナリストによる独自の企業調査情報を活用し、個別の企業の信用分析と現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行ないます。
- 投資信託証券の組入れは原則として高位を維持します。
- 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドのベンチマークは、下記の各市場指標を以下の割合で合成した複合ベンチマーク(円換算)とします。

ベンチマーク	構成割合
J.P.モルガン・アジア・クレジット・インデックス・ノン・インベストメント・グレード(円換算) ^{*1}	1/3
ICE BofA グローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス(レベル4-20%) (ユーロヘッジ・ベース)(円換算) ^{*2}	1/3
ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(円換算) ^{*2}	1/3

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

* 上場投資信託証券を含みます。

*1 この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J.P.モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。

J.P.モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。

Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。

*2 ICE[®]はICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。BofA[®]はバンク・オブ・アメリカ・コーポレーションおよびその関連会社(BofA)によってライセンス供与されたバンク・オブ・アメリカ・コーポレーションの登録商標であり、BofAの事前の承認なしに使用することはできません。ICE BofAはICE BofA indexを現状有姿の状態でライセンス供与しており、同インデックスに関し保証したり、同インデックスおよびそこに反映され、関連している、あるいはそこから派生しているいかなるデータに関して、その適切性、品質、正確性、適時性、完全性を保証するものではありません。またICE BofAは、それらの利用に際し責任を負うものではなく、フィデリティ投信株式会社あるいは同社の商品やサービスにつき、スポンサー提供、支持、もしくは推薦するものではありません。

This Japanese translation of the disclaimer is for informational purposes only, and the English language disclaimer, which is available upon request, controls with respect to ICE Data Indices, LLC and the ICE BofA Indices.

[運用の委託先]

ファンドの運用にあたっては、次の委託先に運用の指図に関する権限を委託します。

委託先名称	委託する業務の内容
フィデリティ・インベストメント・カナダ・ユエルシー	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、ファンドの運用の指図を行ないます。
FILインベストメント・インターナショナル(所在地:英国)	

フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)

追加型投信／海外／債券

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なう投資対象ファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
信用リスク	有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、債務が履行されない場合があります。なお、ハイ・イールド債およびエマージング・マーケット債に投資を行なう場合には、上位に格付けされた債券に比べて前述のリスクが高くなります。
金利変動リスク	公社債等は、金利の変動を受けて価格が変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。
為替変動リスク	外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。
デリバティブ(派生商品)に関するリスク	ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。デリバティブの利用はヘッジ目的に限定されず、運用の効率を高めたり、超過収益を得るための手段として用いられる場合もあります。デリバティブは基礎となる資産、利率、指数等の変動以上に値動きする場合があります。また、デリバティブ以外の資産の価格の動きに加えて、デリバティブの価格の動きがファンドの基準価額の下落要因となる場合があります。
カントリー・リスク	投資対象国及び地域の政治・経済・社会情勢等の変化、証券市場・為替市場における脆弱性や規制等の混乱により、有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。税制・規制等は投資対象国及び地域の状況により異なり、また、それらが急遽変更されたり、新たに導入されたりすることがあります。これらの要因により、運用上の制約を受ける場合やファンドの基準価額の変動に影響を与える場合があります。なお、新興国への投資は先進国に比べて、上記のリスクの影響が大きくなる可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

■クーリング・オフ: ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

■流動性リスク: ファンドは、大量の解約が発生し短期間に解約資金を手当てる必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや、取引量が限られるリスク等があります。その結果、基準価額の下落要因となる場合や、購入・換金受付の中止、換金代金支払の遅延等が発生する可能性があります。

■ベンチマークに関する留意点: ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回る場合もあれば下回る場合もあり、ベンチマークとの連動を目指すものではありません。また、投資対象国または地域の市場の構造変化等によっては、ファンドのベンチマークを見直す場合があります。

■分配金に関する留意点: 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの收益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および收益率によってご判断ください。投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

■購入・換金申込受付の中止及び取消しについての留意点: 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策の変更や資産凍結を含む規制の導入、クーデターや重大な政治体制の変更等))があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。

ファイデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)

追加型投信／海外／債券

お申込みメモ

商品の内容やお申込みの詳細についての照会先	委託会社 インターネットホームページ 電話番号	ファイデリティ投信株式会社 https://www.fidelity.co.jp/ 0570-051-104 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時) 上記または販売会社までお問い合わせください。
購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
購入代金	販売会社が定める期日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。	
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに購入・換金の申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み受付とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細は販売会社にご確認ください。	
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日においては、お申込みの受付は行いません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	
信託期間	原則として無期限 ^(注) (2014年4月15日設定) (注)ファンドは、2025年9月11日付で信託の終了(繰上償還)を予定しております。	
繰上償還	ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	原則、毎年3月27日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	
ベンチマーク	「ファンドの特色」をご覧ください。	
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。	

ファンドの費用・税金

購入時手数料	3.30%(税抜3.00%)を上限として販売会社が定めます。 ※詳しくは、お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	基準価額に対し0.20%です。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、年0.8514%(税抜0.774%)の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
投資対象とする投資信託証券*	年率0.60%(税抜)程度
実質的な負担*	年率1.48%(税込)程度
その他費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

*投資対象ファンドの変更等により将来的に変動することがあります。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドの費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)

追加型投信／海外／債券

委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社 【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会
受託会社	野村信託銀行株式会社
運用の委託先	フィデリティ・インベストメンツ・カナダ・ユーエルシー FILインベストメンツ・インターナショナル(所在地:英国)
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス: https://www.fidelity.co.jp)をご参照ください。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 「フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型)」が主に投資を行なう投資対象ファンドは、主として海外の高利回り事業債(ハイ・イールド債券)を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた債券およびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた債券およびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

FACTPD 250611-2

■フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(資産成長型) 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社さらばし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
三菱UFJ-eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。

販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

CSIS250528-9